

「地理総合」で付けさせたい力と授業構想

The planning of “Integrated Geography” and its aimed competency

*小河 泰貴¹

*Yasutaka Kogawa¹

1. 岡山県立津山高等学校

1. Okayama Prefectural Tsuyama High School

次期学習指導要領が2018年3月に告示され、「持続可能な社会づくり」に求められる地理の新科目として、必修科目の「地理総合」が設けられた。1992年の「地理教育国際憲章」において、地理学研究の五大概念は「位置と分布」「場所」「人間と自然環境との相互依存関係」「空間的相互依存作用」「地域」とされた。これらの概念は、地理カリキュラムを構成するうえでの一つの指針となっている。また、国際地理オリンピックの開催を通して、世界と日本の高校生に、地理教育で養う思考やスキルなどの国際的な基準が示されている。

「地理総合」の実施に向けて、私たち地理教員は何をどのように意識して授業構想をしていくのか。その視点として、国際地理オリンピック世界大会の出題内容や、日本の高校生の地理的な見方・考え方の現状などを踏まえ、「地理総合」で付けさせたい力と授業構想について報告をする。

キーワード：地理総合、ESD、国際地理オリンピック

Keywords: integrated geography, Education for Sustainable Development, International Geography Olympiad